

「北海道経済連合会地域ブランド振興専門委員会」における「認証制度等のあり方」の検討について

(専門委員会資料(H 2 0 . 6 . 1 7)により道が作成)

専門委員会の構成と基本認識

北海道大学伊藤准教授を委員長として、経済界関係委員で構成

「北海道の豊富かつ良質な農林水産資源の需要拡大と利活用拡大は、北海道経済の発展において不可欠」との基本認識

認証制度等のあり方の検討

「きりりっぷ」や「道産食品登録制度」など、現状と課題を整理し、地域ブランドとしての認知度向上や制度の確立に向けた方策を検討

道内外の認証制度(別紙参照)

- ・北のブランド(札幌) : 札幌商工会議所の会員企業が道内で製造した製品
- ・オホーツクブランド(網走管内) : 主原料はオホーツク地域で地場産業製品(生鮮品含む)
- ・十勝ブランド(十勝管内) : 加工食品に限定(ナチュラルチーズ、パン)
- ・沖縄県優良県産品認証制度 : 県内で生産され量産加納な加工食品、家庭用雑貨
- ・ひょうご食品認証制度 : 県産の農・畜・水産物及びこれらを原料として県内で製造、加工食品
- ・富山県ふるさと認証食品制度 : 県内農林水産物を主原料とした加工食品等
- ・島根ふるさと食品認証事業 : 県産の農・畜・水産物及び加工食品
- ・山梨県農産物等認証制度 : 県内農産物等を主原料とした加工食品等

現在の道の認証制度等の改善点を踏まえた今後のあり方について

きりりっぷマーク改良 : 認証の意味が分かりづらく、高品質を感じさせるとは言いがたい

認証制度普及啓発活動の積極的な推進 : 道庁全職員一丸のPR活動や経済界、関係団体も含めた道全体での普及啓発運動

認証取得事業者への支援の検討 : 販路拡大や認証商品PR活動への制度面の支援。売上げ増加率の高い事業者等に対する表彰制度等の制定

北海道産の原材料確保に向けた支援の検討 : 道産原材料需要増は経済波及効果も期待でき、認証制度・登録制度取得事業者への材料確保に向けた制度面の支援検討

認証取得を目指す企業への育成・支援の検討 : 評価のみではなく、北海道ブランド向上のために、認証取得を目指す企業に対し、育成事業や制度面の支援を検討

認証事業による組織化の検討 : 一層の販路拡大、認知度向上には、認証事業者による組織化の検討

「道産食材利用の風土づくり」の積極的な取組 : 風土づくりは、認証制度の認知度向上のみならず、道産一次産品の需要増、振興、担い手づくりへの寄与、資金循環による経済波及効果も期待できることから、道、経済界、関係団体が一丸となって「道民自身ができる限り道産のものを利用する」という風土づくりに積極的に取り組んでいくべき